



○3学期始業式講話(抜粋)

〈前略〉新学期のはじまりにあたり、「謝」という漢字について話をしたいと思います。感謝、謝辞(を述べる)や謝罪、陳謝の謝です。

謝

「言」+射撃の「射」から成る漢字です。「射」は矢を放つことです。矢を射れば弓の緊張は解けます。つまり、言葉に出すことにより、心の緊張が解け、和らぐことをあらわしています。

謝罪という言葉からこのことを考えてみましょう。謝罪を相手に伝える言葉は、「ごめんなさい。すみません。」。英語では、I'm sorry。中国語では不起と言います。ポルトガル語では「Me desculpe(ミ・ディスクウピ)」。ドイツ語では「Entschuldigung(エントシュルディグング)」、イタリア語では「Scusi(スクズイ)」です。韓国語では、ミアナムニダです。

次に感謝を相手に伝える言葉は、「ありがとう」です。英語はもちろん Thank you。中国語では、謝謝。ポルトガル語では「Obrigado(オブリガード)男性」、ドイツ語では「Danke schon(ダンケ・シェーン)」、イタリア語ではグラッツィエ(Grazie)です。韓国語では、カムサハムニダです。

ハワイでは、親指と小指を立てて、手の平を見せる「ハングルース」にもその意味があり、挨拶代わりに使われるそうです。

世界を旅行する時に、「ありがとう」「ごめんなさい」「愛している」の3つの言葉が話せればだいたいなんとかなると外国航路の船員さんが冗談で言っていたことを聞いたことがあります。その時、妙に納得したことを覚えています。

なにが言いたいかという、すべて相手を思いやる言葉なのです。終業式では挨拶が気遣いの第一歩という話をしました。

3つのうちどれか1つだけすべての言語を、それこそドラえもんのかで覚えられたとしたらどれを選びますか…やはり、「ありがとう」ではないでしょうか。「ありがとう」は、他の国の言葉も知っている人が多かったのではないのでしょうか…。

挨拶に加え、素直に「ありがとう」や「ごめんね」が言え合える仲間とはお互いの信頼が強まります。子どもの頃から最も口にした言葉の一つではないでしょうか。

謝罪は、自分が原因で相手の負担になっていることを自ら認めることです。つまり、「ごめんなさい」は、自分の言動で相手が傷ついたことを自ら認め、相手の心の溝を自分のエネルギーで少しでも埋めようとするための言葉とも言えるのではないのでしょうか。

一方「ありがとう」は、言った方も言われた方もエネルギーが増す言葉だと考えます。だから、「ごめんなさい」と言われた相手が、「あやまってくれてありがとう」と言えば、お互いが幸せな気持ちになれます。〈中略〉

コロナ禍での生活だからこそ、「謝」の感性を大事にしていきましょう。

最後に、さきほどハングルースの話をしました。意味は、「アロハ」「じゃあね」「気楽に行こうぜ」「ありがとう」といった使い方をするそうです。

少しハングルースの手の形を試してみてください。あまり力が入らないはずですが、今までがんばってきたのだから、今日はリラックスして行きましょうという感じです。「頑張れ」は素敵な言葉ですが、これから共通テストに臨むみなさんは、このハングルースの気持ちも持って、これまでの努力の成果を十分に発揮してください。〈後略〉